

サンプル規程付!

保存版

在宅勤務制度 導入ガイド

— 多様な働き方を支援する制度設計と進め方 —

社会保険労務士事務所 HMパートナーズ 代表 岩沢誠敬



■柔軟な働き方に応える制度として注目

「在宅勤務」は古くて新しい人事課題の1つといえよう。都心への過度の集中が社会問題になった頃、「ゆとり通勤」「生産性向上」などのキーワードとともに「サテライトオフィス」という考え方から注目された。

一方、最近は介護や子育てを支援するワークライフバランスの視点から再度注目を集めている。ITの進化でハード面の整備が整いつつある反面、人事制度としての整備や、情報管理など運用面に課題を残してもいる。実際、先進企業での取り組み事例や、制度の概念は理解できたとしても、いざ自社への導入を検討する段になると、誰を対象にするのか？ 何日認めるのか？ 時間管理はできるのか？ コミュニケーションは取れるのか？ 成果評価に問題はないのか？ 等、不安材料は尽きないだろう。

本稿では外部資料なども参考にしながら、事例を整理するとともに、制度導入の一通りのガイダンスを掲載した。社内規程のサンプルも参考になるはずだ。

(編集部)

構成

1 在宅勤務制度を主とした「テレワーク」の動向

2 テレワークの区分

3 在宅勤務のメリットとデメリット

4 在宅勤務制度の導入事例

5 在宅勤務制度導入のフロー

- (1) リサーチ
- (2) 制度導入の検討
- (3) 制度の詳細設計
- (4) 在宅勤務制度規程作成・届出
- (5) 情報管理システムの選定・導入
- (6) 説明会
- (7) テスト運用、再検討
- (8) 本格導入

6 在宅勤務者の時間管理

7 在宅勤務者のコミュニケーション

8 在宅勤務者の評価と課題

■岩沢誠敬 (いわさわ のぶたか) :

1989年早稲田大学卒。不動産会社、映画配給会社、IT会社において一貫して人事畑を歩み人事業務全般を経験。2000年に独立し社労士事務所HMパートナーズ設立。人事制度構築・運営指導、人事労務相談、給与計算、社会保険手続等、一部上場企業からベンチャー企業までをクライアント先に持ち、スタッフともども“非常勤の人事部長”として活躍中。

■HMパートナーズ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-4-7 福岡第三ビル7F

●TEL : 03-3239-8807 ●FAX : 03-3239-8809 ●ホームページ : <http://www.hmpartners.jp>